



JP

ユーザーマニュアル

HD シリーズ

デフォルトのユーザー名: アドミン
デフォルトのパスワード: 123456

本書について

本書の内容は情報を目的とし、予告なく変更することがあります。弊社は、本書が正確で完全なものであるようにあらゆる努力を行っています。しかし、いかなる誤記および脱落が生じた場合も一切の責任を負いません。

FCC適合性の表示

本機は試験を行い、FCC規則パート15に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に適合することが認められました。この制限は、住宅への設置における有害な妨害に対する合理的な保護を行うために考案されています。本機は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射します。使用説明に従わずに設置し、使用した場合は、無線通信に有害な妨害が発生する恐れがあります。ただし、特定の設置において妨害が発生しないという保証はありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な妨害を引き起こす場合、本機の電源をOFF / ONにすることにより判断できますが、次の対策の1つ以上を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- 製品と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続しているのと回路が異なるコンセントに製品を接続する。
- 販売店または経験を積んだラジオまたはテレビ技術者に相談し、支援を求める。
- 適合宣言

適合宣言

本機は、FCC規則パート15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従っています。

- 本機は有害な妨害を起こす可能性がない。
- 本機は、望まない動作を起こす可能性がある妨害を含めて、いかなる妨害の受信も受け入れなければならない。

著作権

賠償責任の制限

- 本書は、商品性、あらゆる特定目的への適合性、または第三者の権利の抵触がないことにに関する默示の保証を含むがこれに制限されない明示的または默示的なあらゆる種類の保証なしに「現状通りに」提供されます。
- 本書には、技術的な誤りまたは誤記が含まれる可能性があります。出版物の改善または関連デバイスの改善のため、本書の情報に対してはいつでも変更を行うことができます。

保証の放棄

いかなる場合も、サプライヤは、次を含むがこれに限定されない場合に、製品の交換または合理的なメンテナンスを除き、いかなる当事者または人に対しても責任を負わないものとします。

- 直接的または間接的、特殊、派生的、あるいは警告的なもの、およびデバイスが原因となるまたは関連するものが含まれるがこれに限定されないすべての損害または損失。
- 不適切な使用またはユーザーの操作の不注意により引き起こされた個人の怪我またはなんらかの損傷。
- ユーザーによる権限のないデバイスの解体、修理、または変更。
- システムとサードパーティ製デバイスを組み合わせることから発生するすべての問題、結果的不都合、または損失もしくは損傷。
- 保存したデータを含む監視カメラの写真が何らかの理由により公開されるかまたは監視以外の目的で使用されプライバシー違反の結果となることにより、被写体となるすべての人または組織からもたらされる損傷に対するすべての請求または訴訟。

安全情報



警告

これは特別な注意を要する危険の可能性、リスク、または状態を示すマークです。ユーザーは、重要な操作、保守または修理の説明書を参照することが必要です。



注意

正三角形の中に矢印付きの稲妻があるマークは、ユーザーへ警告することを意図しています。製品のエンクロージャー近くに、人に対するリスクになり得る危険な「電圧の」存在があります。

安全上の注意

- **充電部に触らないこと。**

感電を防ぐことができます。次に挙げる推奨法に従ってください。設置障害、不適切な接地、不正な電気機器の保守運用は、常に損傷の元となります。

- **風雨が強い時に屋外で機器を設置しないこと。**

- **雨の時は屋外で機器の設置または取り外しをしないこと。**

- **雷雨の時はいかなる機器も設置または操作しないこと。**

- **常にすべての電気機器と作業足場を接地すること。**

偶発的な感電を避けてください。電源、制御キャビネット、および作業足場を認可された電気接地に接続してください。

- **必ず正しいケーブルのサイズを使用すること。**

過負荷の持続により、ケーブル障害が発生し、結果として感電または火災の原因となる可能性があります。作業ケーブルは、工場と同じ定格である必要があります。

- **ケーブルとコネクターは常に良好な状態に維持すること。**

不適切または破損した電気接続によりショートが発生し、感電の危険性が増加します。磨耗、損傷、または裸のケーブルを使用しないでください。

- **必ず開路電圧を避けすること。**

電圧の追加により、感電の危険性の重大性が増加します。

- **機器を調整する間は必ず絶縁手袋を装着すること。**

電撃保護を保証するため、いかなる機器の調整を行う場合も電源をOFFにし、絶縁手袋を装着することが必要です。

- **機器を設置または取り外す間は必ず長袖のシャツなどの防護服を着ること。**

- **必ずきちんとした形のぴったり合う靴を履くこと。**

- **必ず潤滑油または油が付いていない清潔な衣服を着ること。**

- 周囲の作業者が円周放射にさらされないよう保護すること。
- 機器を設置または取り外す間は必ず長ズボンやジーンズを着用すること。
- 作業前に、必ず安全ヘルメットまたは安全帽および安全靴を装着すること。
- 機器は常に乾燥した場所に保管すること。
- 高所作業時は必ず安全ハーネスまたはベルトを装着すること。
- 常に乾いた衣服を着用し、湿気と水を避けること。
- 夜間作業時は必ず公衆安全ベストを装着すること。
- すべての電気接続は、必ずしっかりと、清潔で、乾いた状態にすること。
- 静電荷を除去するため、必ず十分に絶縁すること。
- 常に乾いた手袋、ゴム底の靴、または乾いた板もしくは台に立つこと。
- 必ず広く認められた安全基準に従うこと。
- 必ず適切な目、耳、および体の保護具を装着すること。
- 暗所、換気の悪い場所、または高所で作業する間は、必ず現場に2番目の人があるようにすること。
- 必ずアーク閃光、機械的損傷、またはその他の災難に対して十分な保護措置をとること。
- 機器を設置する前に、線の極性が正しいことを確認すること。
- 機器は必ず注意して取り扱うこと。
- 機器の換気を遮らないこと。
- 機器の周辺に磁気パートを置かないこと。
- 機器の上に物を置かないこと。

目次

ハードディスクドライブ (HDD) のインストール	5
接続を行う	6
DVRの共通操作	8
ライブ映像表示画面	9
メインメニュー	10
ディスプレイ: アナログチャンネル/出力	11
ディスプレイ: ライブ映像	12
ディスプレイ: IPチャンネル/画像制御	13
ディスプレイ: プライバシーゾーン	14
録画: 録画および録画ストリーム	15
録画: スケジュール	16
録画: リモートストリームおよびモバイルストリーム	17
キャプチャー: キャプチャーおよび キャプチャースケジュール	18
ネットワーク: ネットワーク	19
ネットワーク: ネットワークおよびリモートストリーム	20
ネットワーク: メールおよびメールスケジュール	21
ネットワーク: DDNSおよびFTP	22
アラーム: モーション	23
録画検索: 全般、イベントおよび写真	24
録画検索: 全般、イベントおよび写真(続き)	25
録画検索: 全般、イベントおよび写真(続き)	26
録画検索: 全般、イベントおよび写真(続き)	27
デバイス: HDDおよびPTZ	28
デバイス: クラウド	29
システム: 全般およびユーザー	30
システム: DST、NTPおよびログ	31
システム: 情報、チャンネル情報および録画情報	32
詳細: 維持、イベントおよび自動アップグレード	33
Webクライアントを経由するリモートアクセス	34
Webクライアントを経由するリモートアクセス(続き)	35
トラブルシューティング	36

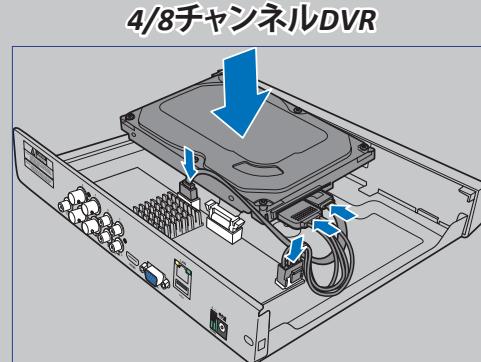
ハードディスクドライブ (HDD) のインストール

このDVRは、3.5インチまたは2.5インチSATA HDDをサポートします。

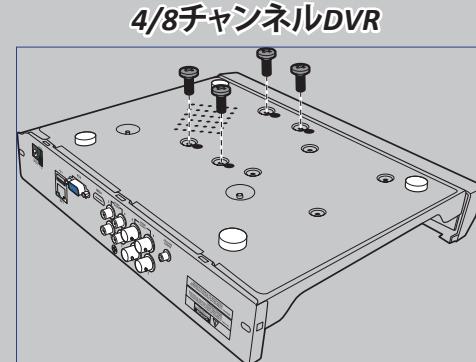
警告: デバイスの電源がONの間はHDDのインストールまたは取り外しをしないでください。

注意: 購入したモデルにより、実際の商品は若干下の画像とは異なる場合があります。

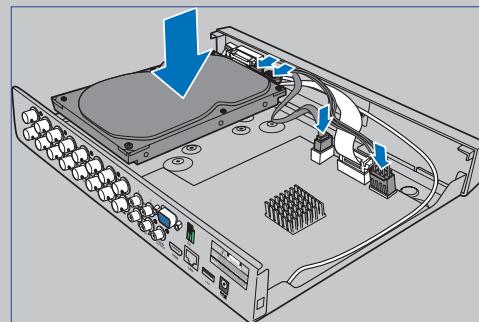
a) データケーブルと電源ケーブルをHDDに接続してから、HDDをDVRケースに配置します。



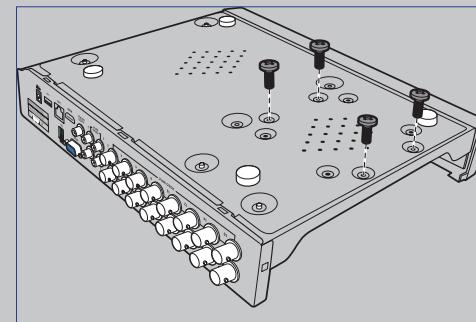
b) 慎重にDVRケースを反転させ、HDDをDVRに4本のねじで固定します。



16チャンネルDVR



16チャンネルDVR



接続を行う

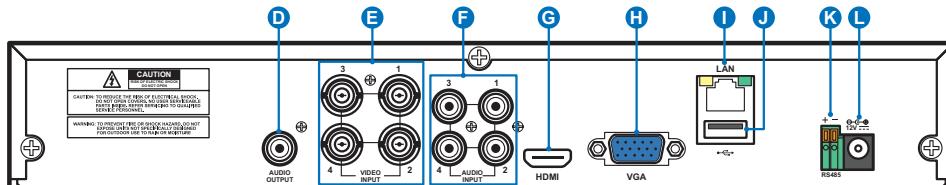
製品概要

注意:製品の前面図は、4チャンネル、8チャンネル、16チャンネルDVRについても同様です。

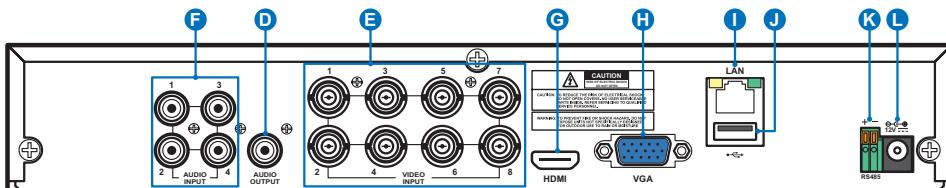
前面図(4チャンネルDVR*)



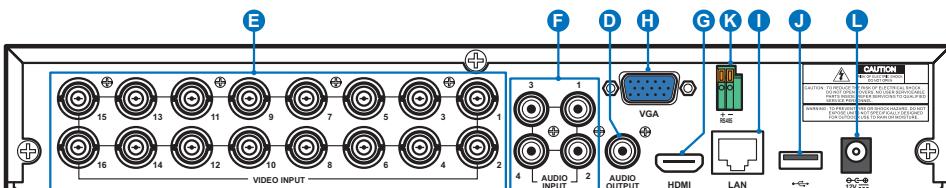
背面図(4チャンネルDVR)



背面図(8チャンネルDVR)



背面図(16チャンネルDVR)



ハイブリッド DVR (HD シリーズ)

A) HDD LED - ハードドライブが動作しているときに点滅します。

B) 電源 LED - このライトは、DVRの電源が入っているときにオンになります。

C) USB - ここに付属のマウスを接続します。

D) オーディオ出力 - スピーカーを接続します。

E) ビデオ入力 - カメラを接続するところです。

注意:画質を保証するために、付属のKGUARDカメラを使用すること、または、KGUARDメガピクセルCCTVカメラを別途購入することをお勧めします。

F) オーディオ入力 - マイクを接続します。

G) HDMI - これをデジタルTVまたはモニターにHDMI入力を使って接続します。

H) VGA - これをTVまたはモニターにVGA入力を使って接続します。

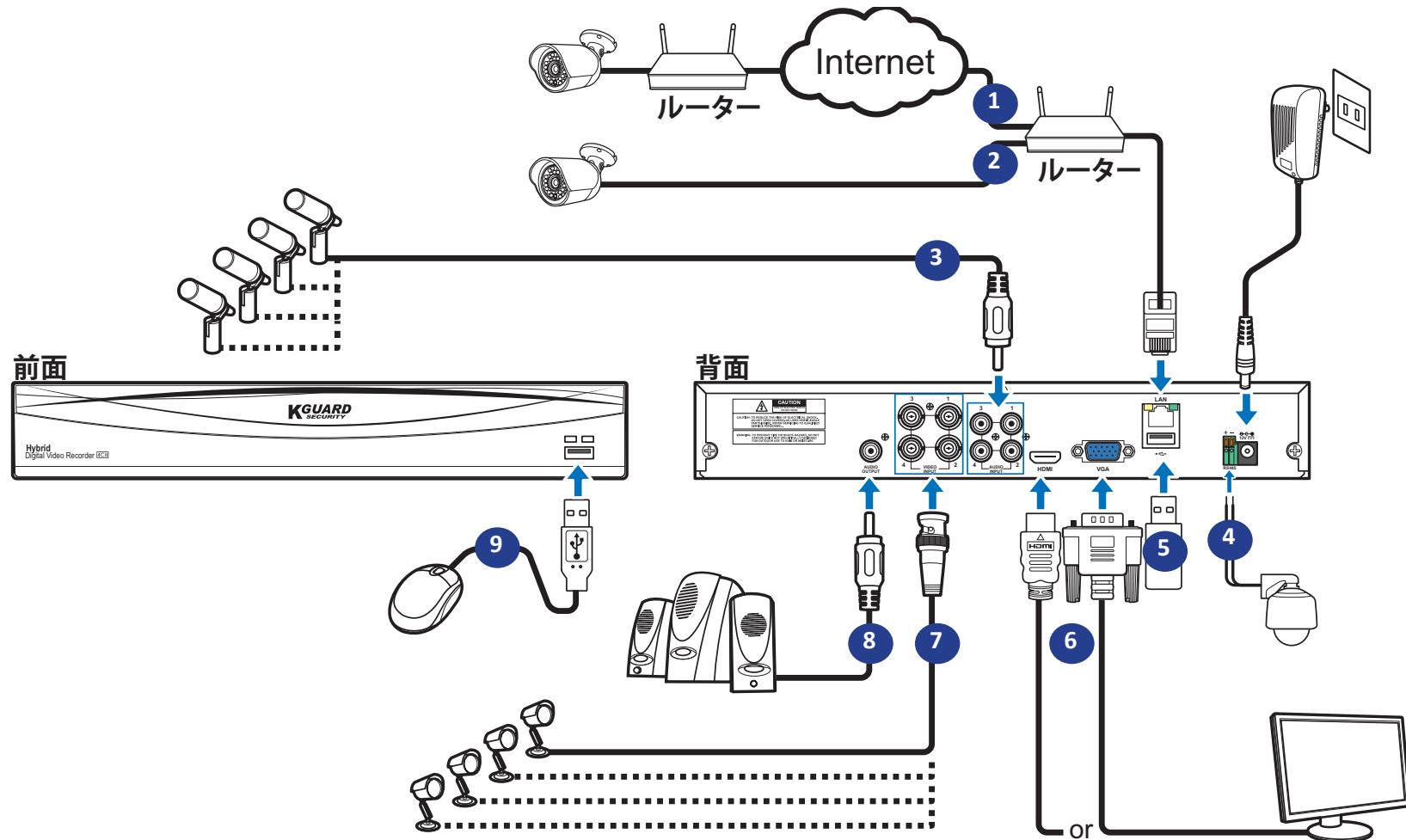
I) LAN - これをホームネットワークに接続し、DVRにインターネットを通して接続できるようにします。ネットワークに接続するだけでなく、ローカルまたはリモートのONVIF IPカメラにアクセスすることができます。

J) USB - 録画されたイベントをバックアップするためにUSBフラッシュドライブを接続します。

K) RS485 - RS485を介してスピードドームカメラに接続します。

L) 電源 - ここに電源アダプタを接続します。

接続図



- 1) インターネット上で他のIPカメラにリモートで接続することができます。
- 2) ローカル接続用には、CAT.5E またはそれ以上のRJ45イーサネットケーブルを接続します。
他のIPカメラをローカルネットワークを通して接続することができます。

注意: ONVIF IPカメラを表示するには、最初にOSDメニューを通して、カメラを追加する必要があります。“ディスプレイ: IPチャンネル/画像制御” ページ 13をご参照ください。

- 3) カメラから音声を聞く場合は、マイクおよび/または音声対応カメラを接続します。
- 4) RS485を介してスピードドームカメラに接続します。
- 5) バックアップまたはシステムアップグレード用のUSBフラッシュディスクを使用します。

- 6) DVRのビデオ出力をHDMIまたはVGA接続を介してTVまたはモニターに接続します。
- 7) カメラの延長ケーブルのBNCプラグをDVR背面のビデオ入力コネクタに接続します。

注意:

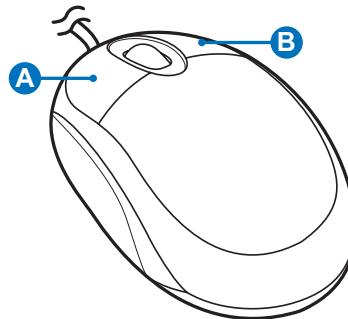
- アナログチャンネルが有効になっていることを確認してください。“ディスプレイ: アナログチャンネル/出力” ページ 11をご参照ください。
- このDVRは、UTC機能(Nextchip同軸プロトコル)付きカメラに対応しています。

- 8) DVRからライブ音声または音声再生を聞く場合は、スピーカーを接続します。
- 9) DVRの電源をオンにした後、初期セットアップメニューを行うにはUSBマウスが必要です。

ハイブリッド DVR (HD シリーズ)

DVRの共通操作

付属マウスの使用



A) 左ボタン

- シングルクリックして、メニューの項目を選択し、選択を確認します。
- ライブ映像表示画面上でチャンネルをダブルクリックして、チャンネルをフルスクリーンモードで表示します。再度ダブルクリックして、フルスクリーンモードを終了します。
- クリックアンドホールドして、エリアをモーションモードにドラッグするか、あるいはメニュー mode でスライダーおよびスケールの値を調整します。

B) 右ボタン

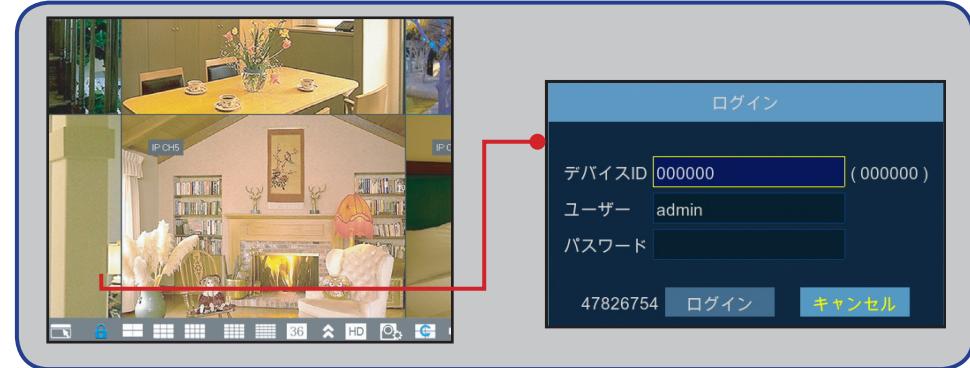
- シングルクリックして、ライブ映像表示画面上にポップアップメニューを開き、メニューを終了します

画面のロック

認証されていない者によるOSD操作から保護するため、画面がロックされます。OSDメニューにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力することで自分の認証を行う必要があります。デフォルトのユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

- ユーザー名:admin
- パスワード:123456

注意:必要な場合は、手動で画面をロックすることができます。これを行うには、ライブ映像表示画面上で右クリックし、ポップアップメニューを表示します。次に をクリックします。



仮想キーボードの使用

データ入力が必要なときに、画面上に自動的に仮想キーボードが表示されます。



クリックして文字を削除します

クリックして文字を入力します

クリックしてキーボードを大文字に切り替えます

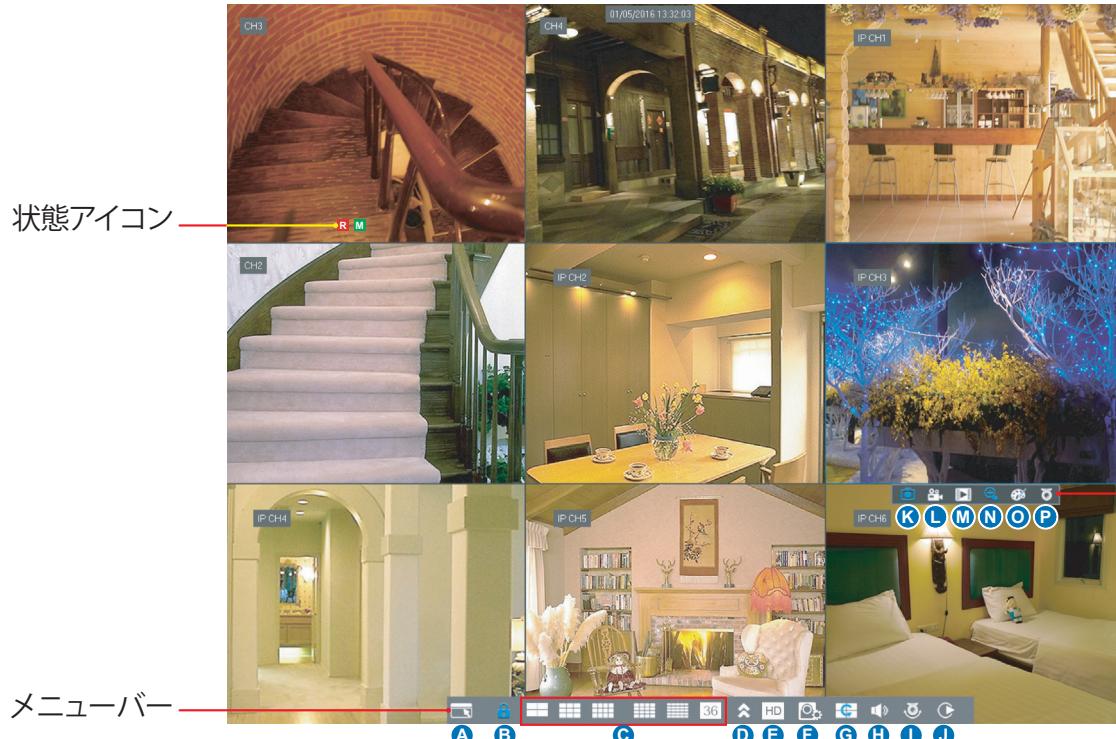
DVRの再起動/シャットダウン

再起動およびシャットダウン操作は、メインメニューを介して行うことができます。



ライブ映像表示画面

開始ウィザードを完了後またはスキップした後に表示される最初の画面です。この画面に、接続されたすべてのカメラのライブ映像が表示されます。表示は、購入したDVRモデルにより異なります。



状態アイコン

M モーションアイコンは、DVRがカメラからモーションを検出していることを示します。

H HDDアイコンは、DVRがHDDを検出できない、または、HDDがフォーマットされていないことを示します。

R これは、DVRが現在録画中であることを示します。

M このアイコンは、カメラがモーションを検出し、録画をトリガーした時に表示されます。

ビデオロス: カメラに対する接続が失われました。

オフライン: 追加した IP カメラがオフラインまたは切断済です。

カメラなし: IP カメラが DVR に接続されていません。

メニューバー

- A)** これをクリックして、メインメニューを開きます。
- B)** これをクリックして画面をロックします。
- C)** これをクリックして、異なるカメラビューに切り替えます。
- D)** これをクリックして詳細なレイアウトオプションを表示します。
- E)** これをクリックして、すべてのチャンネルを録画ストリームまたはリモートストリームに切り替えます（ライブ映像解像度の場合）。
- F)** これをクリックして、リアルタイム、バランスまたはスムース表示の間を切り替えます。表示効果モードは、ビットレートおよびフレームレートにより表示される映像品質のみに影響を与え、録画品質に影響を与えることはありません。
- G)** これをクリックして、Display(表示): Output(出力)で設定した順序でチャンネル表示を開始します。をご参照ください。[11ページ](#)
- H)** これをクリックして音量を調整します。
- I)** これをクリックして、PTZカメラに対するクルーズを開始/停止します。
- J)** ビデオを再生する場合は、これをクリックします。

クイックカメラツールバー

- K)** これをクリックして、手動で画像をキャプチャーします。
- L)** クリックして、手動でチャンネルの録画を開始します。
- M)** クリックして、最新の録画のチャンネル再生を確認します。
- 5 分間の録画。
- N)** クリックして、チャンネルをズームインします。
- O)** クリックして、チャンネルのカラー設定を調整します。
- P)** クリックして、カメラのPTZ設定を行います。

メインメニュー



- A) **アラーム** - このメニューオプションを選択し、モーションエリアと感度を設定します。
- B) **ネットワーク** - このメニューオプションを選択して、DVR のネットワークに対するアクセスパラメータを設定し、電子メールおよび DDNS パラメータを設定します。
- C) **キャプチャー** - このメニューオプションを選択して、画像をキャプチャーします。
- D) **録画** - このメニューオプションを選択し、録画オプションを設定し、録画スケジュールを設定します。
- E) **表示** - このメニューオプションを選択し、例えば、カラー設定、ビデオ出力解像度、プライバシーエリアなどのライブ映像表示画面上にチャンネルを表示する方法を設定します。
- F) **録画検索** - このメニューオプションを選択し、録画、イベントおよびキャプチャーした画像を検索します。
- G) **デバイス** - このメニューオプションを選択し、ここで内部 HDD をフォーマットしたり、利用可能なスペースを表示したり、PTZ 設定パラメータおよび DVR を Dropbox アカウントにリンクするための接続パラメータを設定します。
- H) **システム** - このメニューオプションを選択し、日付と時刻などの一般的な DVR 設定を変更します。
- I) **詳細** - このメニューオプションを選択し、保守タスクを変更し、システムを更新します。
- J) **シャットダウン** - このメニューオプションを選択し、ここで DVR をシャットダウンまたは再起動します。
- K) **コピー(パラメータ)先** - クリックして、現在の設定を全チャンネルまたは特定の1つのチャンネルにコピーします。
- L) **デフォルト** - クリックして、デフォルト設定を復元します。
- M) **保存** - クリックして、変更を保存します。
- N) **キャンセル** - クリックして、変更を破棄します。

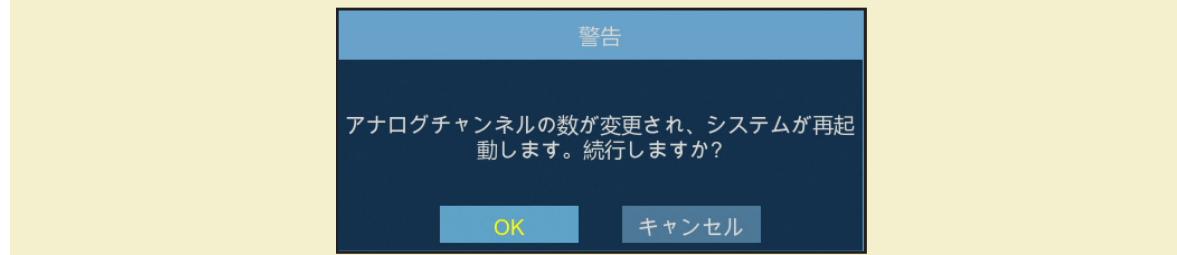
ディスプレイ: アナログチャンネル/出力

このメニューを使って、アナログチャンネルを有効または無効にすることができます。



- **チャンネル:** チャンネル ID を表示します。
- **チャンネル名:** チャンネル名を表示します。
- **状態:** チャンネルの状態を表示します。
- **アナログチャンネル:** チャンネル ID の隣にあるチェックボックスをクリックして、アナログチャンネルを有効または無効にします。

注意: チャンネル状態の変更を行った後、Save(保存)をクリックして、変更を保存してください。変更を確認するように求められます。OKをクリックして、確認します。



このメニューを使って、ビデオ出力パラメータを設定することができます。



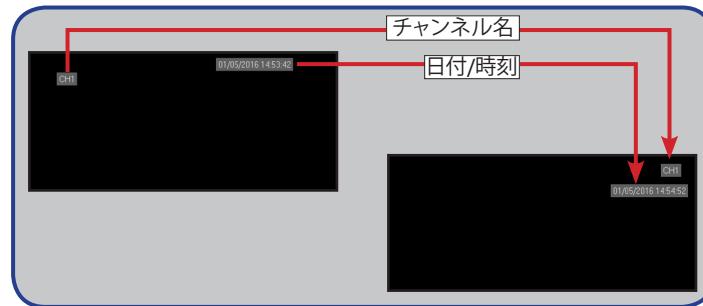
- **ビデオ出力:** これは、ライブ映像表示に使用するモニターです。
- **シーケンスマード:** ライブ映像表示上に順番に表示するチャンネルのお気に入りのレイアウトをドロップダウンメニューから選択します。
- **SEQ 時間:** チャンネルからライブ映像を順番に表示する時間を設定します。
- **VGA/HDMIの解像度:** モニター/TVがサポートする最高解像度を選択します。解像度が高くなると、画像がより詳細に表示されます。解像度を変更後、DVRが再起動します。
- **透明度:** 表示するメニューの透明度を決定します。設定の調整中に何が起きているかを見る必要がある場合は、一部透明(シースルー)を選択してください。
- **オーバースキャンのサポート:** チェックを入れて、ライブ映像表示画面上のビデオ画像の位置の調整を許可します。

ディスプレイ: ライブ映像

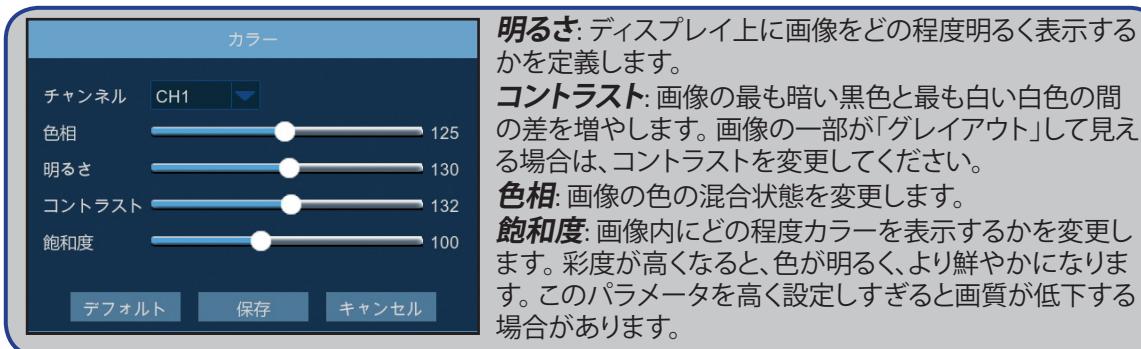
このメニューを使って、チャンネルパラメータを設定することができます。



- **チャンネル:** 変更するチャンネルを選択します。
- **チャンネル名:** チャンネル名を入力します。
- **名称の表示:** ライブ映像表示画面上のチャンネル名の表示を有効にします。
- **録画時間:** チャンネルに録画時間を表示しない場合は無効にします。
- **OSD 位置: 設定** をクリックして、チャンネルを表示する際に、どこにチャンネル名と現在日付を表示するかを決定します。チャンネル表示上でチャンネル名ボックスおよび日付/時刻ボックスを所望の位置にドラッグします。



- **カラー: 設定** をクリックして、ビデオのカラー設定を行います。



明るさ: ディスプレイ上に画像をどの程度明るく表示するかを定義します。

コントラスト: 画像の最も暗い黒色と最も白い白色の間の差を増やします。画像の一部が「グレイアウト」して見える場合は、コントラストを変更してください。

色相: 画像の色の混合状態を変更します。

飽和度: 画像内にどの程度カラーを表示するかを変更します。彩度が高くなると、色が明るく、より鮮やかになります。このパラメータを高く設定しすぎると画質が低下する場合があります。

- **変換:** このチャンネルをライブ映像表示画面上に表示しない場合に有効にします。このオプションを無効または有効にしても、HDD上のビデオ録画に影響を与えません。
- **AHD EQ:** AHD EQ (拡張品質) 機能を有効または無効にします。あなたが高度なユーザーである場合、このパラメータを設定します。
- **時間の表示:** チャンネル時間に現在時刻を表示しない場合に無効にします。

ディスプレイ: IPチャンネル/画像制御

このメニューを使って、IP カメラ設定を追加または変更することができます。

- **カメラへの自動 IP 割当:** クリックして、既に DVR に接続されている IP カメラに IP アドレスを再割り当てします。
- **すべて追加:** クリックして、ローカル ONVIF カメラを追加します (DVR と IP カメラが同じルーターに接続されている場合)。接続を完了するために、IP カメラのユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
- **ユーザー定義の追加:** クリックして、インターネット上でリモート ONVIF カメラを追加します。

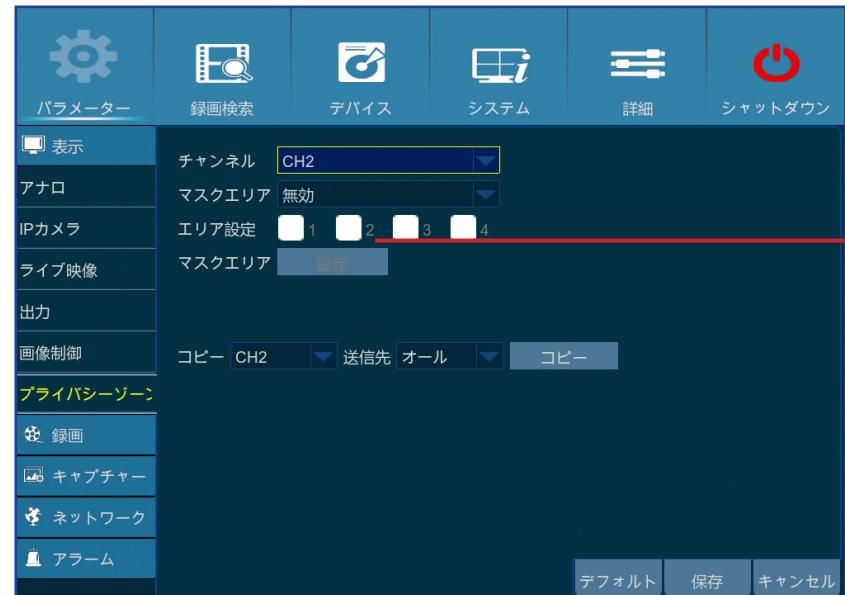
IP カメラの接続パラメータ (IP アドレス/ドメイン、ポート、プロトコル、ユーザー名およびパスワード) を入力します。次に Add (追加) をクリックします。

このメニューを使って、カメラの設定を行うことができます。一部の IP カメラでは、この機能をサポートしていない場合があり、DVR を使って、IP カメラの設定を変更できない場合があります。

- **チャンネル:** 変更するチャンネルを選択します。
- **IR CUT モード:** カメラが、昼間および夜間の両方で正常に動作することを保証するため、所望の内蔵フィルタスイッチオーバーモードを選択します。
- **IRカット遅延:** IR-CUT 切替遅延時間を設定します。
- **レンズフリップ/角度フリップ:** チェックを入れて、自動レンズフリップおよび/またはアングルフリップを有効にします。
- **アングルトラッド:** フリップ角を設定します。
- **バックライト:** 明るい光源に対する撮影時に被写体の暗さを補うため、この機能を有効にします。例えば、太陽光。
- **BLC レベル:** 逆光補正レベルを設定します。
- **3Dノイズ除去:** デジタル的にビデオノイズを最小化し、DVR ストレージを拡張するために、この機能を有効にします。
- **レベル:** ノイズリダクションレベルを設定します。
- **WDR (ワイドダイナミックレンジ):** 明るい光源を使って暗闇の中で撮影するとき、ビデオの明るさとコントラストの自動調整を有効にします。
- **レベル:** WDR レベルを設定します。
- **AGC (自動ゲインコントロール):** 変化する光環境で撮影するときに設定します。暗いエリアの映像が明るくなります。
- **ホワイトバランス:** 自動(自動調整)、手動(赤と青のゲインを手動で調整)、屋内(室内環境に応じて最適化)の間でホワイトバランスレベルを選択します。
- **赤/緑/青:** 赤/緑/青の値を調整します。
- **シャッター:** シャッターモードを設定します。
- **時間露出:** カメラの露光時間を選択します。
- **フォグ除去モード:** ビデオ品質を向上させるため、霧環境で使用します。
- **レベル:** フォグ除去レベルを設定します。

ディスプレイ: プライバシーゾーン

部分的に画像の一部をカバーしたい場合は、このメニューを使って、プライバシーゾーンを作成することができます。チャンネル表示上の任意のサイズおよび位置に最大4つのプライバシーゾーンを作成することができます。これらのゾーンは、「赤い線で囲まれた長方形」として表示されます。デフォルトで赤い線で囲まれた長方形の内部をクリックし、それをプライバシーゾーンを作成する場所にドラッグします。



- **チャンネル:** プライバシーゾーンを設定するチャンネルを選択します。
- **マスクエリア:** プライバシーエリアを設定する場合、この機能を有効にする必要があります。
- **エリア設定:** いくつのプライバシーエリアを設置し、エリアを確認するかを決定します。
- **マスクエリア:** **設定**をクリックし、フルスクリーンモードでチャンネルを開き、プライバシーゾーンのマーキングを開始します。**エリア設定**で選択したエリアの数に応じて、チャンネル表示上に黒い長方形でカバーされたエリアが表示されます。エリアのマーキング完了後、右クリックして、メインメニューに戻ります。

注意: チャンネル上のプライバシーゾーンは、ライブ映像表示およびビデオファイル上に表示されません。ライブ映像表示およびビデオファイル上で、黒いボックスでカバーされたプライバシーゾーンが表示されます。



録画: 録画および録画ストリーム

このメニューを使って、チャンネル録画パラメータを設定することができます。



- **チャンネル:** 録画パラメータを設定するチャンネルを選択します。
- **録画切替:** HDDに対するビデオ録画を許可するために有効にします。
- **ストリームモード:** 録画解像度を選択します。利用可能なオプションは、録画ストリームとリモートストリームです。
- **プリレコード:** このオプションが有効である場合、DVRは、イベントが発生する前の数秒間の録画を開始します。プライマリーレコードタイプがモーションベースである場合には、このオプションを使用してください。

このメニューを使って、録画ビデオパラメータを設定することができます。これらの設定に適用するすべての変更は、HDDに保存される録画ビデオに影響を与えます。



- **チャンネル:** 録画に関する情報を設定するチャンネルを選択します。
- **解像度:** このパラメータは、録画される画像の大きさを定義します。
- **FPS:** このパラメータは、DVRが録画する1秒当たりのフレーム数を定義します。
- **ビットレート制御:** シーンの複雑さに基づき、ビットレートレベルを選択します。灰色の壁など単純なシーンでは、固定ビットレート (CBR) が適しています。にぎやかな通りなどのより複雑なシーンでは、変動ビットレート (VBR) が適しています。
- **ビットレートモード:** 自分自身でビットレートを設定する場合は、**ユーザー定義モード**を選択します。事前設定されたビットレートを使用する場合は、**事前定義モード**を選択します。
- **ビットレート:** このパラメータは、DVRがビデオ録画に使用するデータ転送速度に対応します。エンコードされる録画のビットレートが高くなると、品質が高くなります。
- **音声:** ビデオと一緒に音声を録画し、DVRにマイクを接続している場合、または、音声互換のカメラ(付属していません)を使用する場合は、このオプションを選択してください。音声オプションは、チャンネル1から4に対してのみ利用可能ですので、音声互換カメラをこれらのチャンネルに接続する必要があります。

録画: スケジュール

このメニューにより、いつDVRがビデオを録画するかを指定し、各チャンネルに対して録画モードを定義することができます。録画スケジュールにより、ノーマル(連続)録画による毎日および毎時等のスケジュールおよびモーション録画を設定することができます。録画モードを設定するには、最初にモードラジオボタン(ノーマルまたはモーション)をクリックし、次にカーソルをドラッグして、スロットをマークします。録画スケジュールは、1つのチャンネルに対してのみ有効です。別のチャンネルに同じ録画スケジュールを使用する場合は、**コピー**機能を使用してください。



左の画像は、チャンネル1に対して定義された録画スケジュールを表示します。この例のスケジュールでは、チャンネル1は、毎日24時間録画されます。

注意: チャンネルに対する録画を有効にしていることを確認してください。 “録画: 録画および録画ストリーム” ページ 15を参照してください。

- **チャンネル:** 録画パラメータを設定するチャンネルを選択します。
- **ノーマル:** タイムスロットが緑色の場合、そのタイムスロットではチャンネルはノーマル録画を行っています。
- **モーション:** タイムスロットが黄色の場合、そのタイムスロットでは、チャンネルは動作が検出された場合のみ録画します。ストレージの効率性のため、このタイプの録画を使用することをお勧めします。

注意: モーション感知を使用するために、アラームメニューでモーション設定を有効化・設定しなければなりません。 “アラーム: モーション” ページ 23を参照してください。

- **録画なし:** 黒くマークされた時間スロットは、この時間に対してスケジュールされた録画がないことを意味します。

録画: リモートストリームおよびモバイルストリーム

チャンネルをリモートアクセスを介して表示する場合(例えば、Web クライアント)、このメニューにより、特定チャンネルの設定を行うことができます。



- **チャンネル:** 設定を適用するチャンネルを選択します。
- **解像度:** 解像度を設定します。
- **FPS:** このパラメータは、リモートセッションでの1秒当たりのフレーム数を定義します。
- **ビットレート制御:** シーンの複雑さに基づき、ビットレートレベルを選択します。灰色の壁など単純なシーンでは、固定ビットレート (CBR) が適しています。にぎやかな通りなど、より複雑なシーンでは、変動ビットレート (VBR) が適しています。
- **ビットレートモード:** 自分自身でビットレートを設定する場合は、**ユーザー定義モード**を選択します。事前設定されたビットレートを使用する場合は、**事前定義モード**を選択します。
- **ビットレート:** リモートセッション中のデータスループットを手動で入力するか、ドロップダウンメニューから選択します。
- **音声:** リモートセッション時にライブ音声を聞く場合は、このボックスにチェックを入れてください。オーディオ機能付きカメラが適切に選択されたチャネルに接続されていることを確認します。

チャンネルをモバイルデバイスを介して表示する場合、このメニューにより、特定チャンネルの設定を行うことができます。



- **チャンネル:** 設定を適用するチャンネルを選択します。
- **有効:** このチャンネル上でのモバイルストリーミングの使用許可を有効にします。
- **解像度:** 画面の解像度を設定します。
- **FPS:** このパラメータは、リモートセッションでの1秒当たりのフレーム数を定義します。
- **ビットレート制御:** シーンの複雑さに基づき、ビットレートレベルを選択します。灰色の壁など単純なシーンでは、固定ビットレート (CBR) が適しています。にぎやかな通りなど、より複雑なシーンでは、変動ビットレート (VBR) が適しています。
- **ビットレートモード:** 自分自身でビットレートを設定する場合は、**ユーザー定義モード**を選択します。事前設定されたビットレートを使用する場合は、**事前定義モード**を選択します。
- **ビットレート:** リモートセッション中のデータスループットを手動で入力するか、ドロップダウンメニューから選択します。
- **音声:** リモートセッション時にライブ音声を聞く場合は、このボックスにチェックを入れてください。オーディオ機能付きカメラが適切に選択されたチャネルに接続されていることを確認します。

キャプチャー: キャプチャーおよびキャプチャースケジュール

このメニューを使って、スナップショットキャプチャーパラメータを設定することができます。



- **チャンネル:** キャプチャーパラメータを設定するチャンネルを選択します。
 - **自動キャプチャー:** チャンネル上での自動キャプチャーを有効または無効にします。この機能が有効になっている場合、スナップショットのキャプチャー間隔を選択することができます。
 - **ストリームモード:** 画像の解像度を選択します。
- 注意:** 自動キャプチャーが有効になっている場合、画像のキャプチャー間隔を選択することができます。
- **標準の間隔:** スナップショットを標準の間隔に基づいてキャプチャーします。
 - **アラーム間隔:** モーションが検出されたときのみ、アラーム間隔に基づいて、スナップショットをキャプチャーします。チャンネルに対して、アラーム > モーションが有効になっていることを確認してください。
 - **手動キャプチャー:** チャンネル上での手動キャプチャーを有効または無効にします。

このメニューを使って、スナップショットのキャプチャースケジュールを設定することができます。



次の例では、**標準の間隔**が 30 秒に設定され、**アラーム間隔**が 5 秒に設定されています。スケジュールでは、標準キャプチャーとモーションキャプチャーが、0時から12時まで同時に行われます。12時から24時までは、キャプチャーはモーションのみに基づいて行われます。

- 0時から12時まで、モーションが検出されない場合、スナップショットを30秒ごとにキャプチャーします。モーションが検出された場合、スナップショットを5秒ごとにキャプチャーします。
- 0時から12時まで、モーションが検出された場合に限り、スナップショットを5秒ごとにキャプチャーします。

そうでない場合は、この時間中にスナップショットをキャプチャーしません。

- **チャンネル:** スナップショットのキャプチャースケジュールを設定するチャンネルを選択します。
- **ノーマル:** 時間スロットが緑色にマークされているとき、これは、チャンネルが**標準の間隔**に基づいて、スナップショットをキャプチャーしたことを表しています。
- **モーション:** 時間スロットが黄色にマークされているとき、これは、チャンネルが、モーションが検出された場合のみ、**アラーム間隔**に基づいて、スナップショットをキャプチャーしたことを意味します。
- **キャプチャーなし:** 黒くマークされた時間スロットは、この時間に対してスケジュールされたスナップショットがないことを意味します。

ネットワーク: ネットワーク

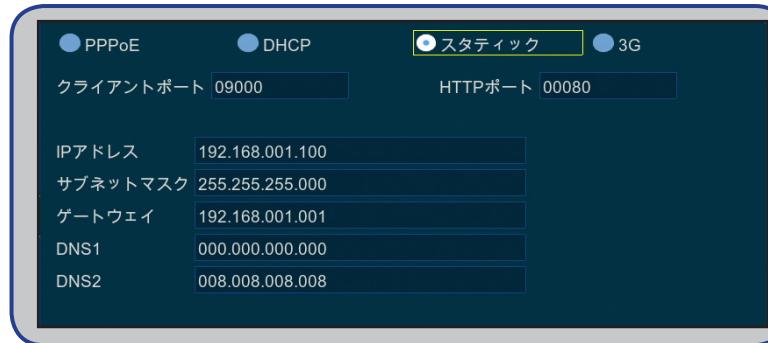
このメニューを使って、PPPoE、DHCP、固定および3Gなどのネットワークパラメータを設定することができます。最も一般的なタイプは、DHCP または固定です。ネットワークが手動でアドレス指定(通常、固定と呼ばれる)されていない限り、おそらくネットワークタイプは、DHCPとなっています。インターネットで認証用のユーザー名とパスワードを必要とする場合は、PPPoEを選択してください。モバイルネットワーク接続を使用する場合は、3Gを選択してください。



- **ネットワークタイプ:** 使用しているネットワークタイプを選択します。

注意: ネットワークタイプまたは設定について不明な点がある場合は、ご利用のISP(インターネットサービスプロバイダ)にお問合せください。

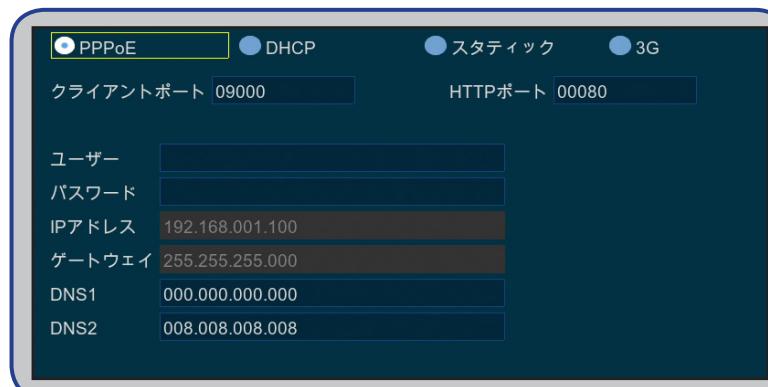
- **DHCP:** これは、ネットワーク上のデバイス(通常はルーター)がDVRにすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てる場合のネットワークタイプです。
- **固定:** すべてのネットワークパラメータを手動で入力する必要があります。



3G: モバイルネットワークを使用する前に、3GドングルをDVRに接続する必要があります。



PPPoE: これは、DSLモデムを介して、DVRをより直接的にネットワークに接続する高度なプロトコルです。



ネットワーク: ネットワークおよびリモートストリーム

- **ユーザー/パスワード:** ネットワークタイプにPPPOEまたは3Gを設定した場合は、ログイン資格情報を使用する必要があります。
- **[HTTPポート]:** DVRにリモートでログインするために使用するポートです(例えば、Webクライアントで使用します)。他のアプリケーションによりデフォルトポート80がすでに使用されている場合は、変更してください。
- **[クライアントポート]:** DVRが情報を送信するために使用するポートです。他のアプリケーションによりデフォルトポート9000がすでに使用されている場合は、変更してください。
- **[IPアドレス]:** IPアドレスは、ネットワーク内でDVRを識別します。これは、ピリオドで区切られた0から255の4つのグループの数字で構成されます。例えば、「192,168,001,100」です。ネットワークタイプが**固定**である場合のみ、IPアドレスを手動で入力する必要があります。
- **[サブネットマスク]:** サブネットマスクとは、ネットワークで使用できるIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスがあなたが住んでいる通りである場合、サブネットマスクは近所のようなものです。また、サブネットマスクは、ピリオドで区切られる4つのグループの数字で構成されます。例えば、「255.255.000.000」です。IPアドレスと同様に、ネットワークタイプが**固定**である場合に限り、サブネットマスクを手動で入力する必要があります。
- **[ゲートウェイ]:** このアドレスにより、DVRのインターネットへのアクセスを許可します。ゲートウェイアドレスの形式は、IPアドレスの形式と同じです。例えば、「192,168,001,001」です。IPアドレスと同様に、ネットワークタイプが**固定**である場合のみ、ゲートウェイアドレスを手動で入力する必要があります。
- **DNS1/DNS2:** DNS1は、プライマリDNSサーバーで、DNS2はバックアップDNSサーバーです。通常、DNS1のサーバーアドレスのみを入力すれば十分です。
- **APN:** パケットデータ接続用の3G APN(アクセスポイント名)を入力します。
- **ダイヤルコード:** 必要に応じて、3Gダイヤル番号を修正します。
- **UPNP:** Webクライアントを使用してリモートでDVRにアクセスする必要がある場合は、ポート転送を完了する必要があります。ルーターがUPnPをサポートする場合は、このオプションを有効化します。UPnPをDVRとルーターの両方で有効化する必要があります。この場合は、ルーター上で手動でポート転送を設定する必要はありません。

注意: ルーターがUPnPをサポートしていない場合は、ポート転送が手動で完了していることを確認してください。 <http://portforward.com/kguard>でカスタマイズされた無料ガイドを参照してください。

ネットワーク: メールおよびメールスケジュール

このメニューを使って、メール設定を行うことができます。モーションが検出された時、HDDが一杯になった時、HDDがエラー状態にある時、ビデオロスが発生した時、メールでシステム通知を受け取る場合は、この設定を完了してください。



- メール:** この機能を有効にしてください。
- SSL:** メールサーバーがSSL証明を必要とする場合、有効にしてください。不明な場合は、メールサービスプロバイダにご相談ください。例えば、Gmailを使用している場合、このオプションを有効にする必要があります。
- SMTPポート:** メールサーバーのSMTPポートを入力します。例えば、Gmailを使用している場合、SMTPポートは465です。
- SMTPサーバー:** メールのSMTPサーバーのアドレスを入力します。
- 送信者のメール:** メールアドレスを入力します。
- 送信者のパスワード:** メールのパスワードを入力します。
- 受信者のメール:** DVRからイベント通知を受信するメールアドレスを入力します。
- 送信間隔:** DVRからの通知メールの時間間隔の長さを設定します。

注意: すべての設定が正しいことを確認するために、テストメールをクリックしてください。システムは、受信箱に自動メールメッセージを送信します。テストメールを受信した場合、設定パラメータが正しいことを意味します。

このメニューを使って、メールスケジュールを作成することができます。メールによりいつ通知を受けるか、どのタイプのイベントの通知を受けるかを定義します。



メールスケジュールのカラーコードは次の意味を持ちます。

- 緑:** モーション用スロット。
- 赤:** 例外用スロット(HDD一杯、HDDエラーまたはビデオロス)。
- 自動イベント送信はオフ:** 黒くマークされたタイムスロットは、スケジュールされた自動メール送信がないことを意味します。

ネットワーク: DDNSおよびFTP

このメニューを使って、DDNS設定を行うことができます。DDNSは、DVRに対するリモート接続を簡素化するために固定アドレスを提供します。DDNSを使用するためには、最初に、DDNSサービスプロバイダのウェブページ上でアカウントを開く必要があります。例えば、KGUARD.ORG: <http://www.kguard.org>を設定するには:



- **DDNS:** DDNSサービスを有効にします。
- **サーバー:** お好みのDDNSサーバーを選択します。
- **ドメイン:** DDNSサービスプロバイダのウェブページで作成したドメイン名を入力します。PCを介してリモートでDVRに接続する場合、これはURLボックスに入力するアドレスとなります。
- **ユーザー/パスワード:** DDNSサービスプロバイダのウェブページ上でアカウントを作成する際に取得したユーザー名とパスワードを入力します。例えば、KGUARD.ORGに対するユーザー名は、KGUARD.ORGウェブページ上でアカウントを作成する際に使用したメールアドレスです。すべてのパラメータを入力後、**DDNSのテスト**をクリックして、DDNS設定をテストします。

このメニューを使って、FTP機能を有効にして、DVRからFTPを介してストレージデバイスに取得したスナップショットを表示およびロードすることができます。



- **FTP有効化:** DVRで機能を有効にします。
- **サーバーIP:** FTPサーバーのIPアドレスを入力してください。
- **ポート:** ファイル交換のためにFTPポートを入力してください。
- **名前/パスワード:** FTPサーバーのユーザー名とパスワードを入力してください。
- **ディレクトリ名:** FTPファイル交換用のデフォルトディレクトリ名を入力します。
- **FTPテスト:** クリックして、FTP設定をテストします。

アラーム: モーション

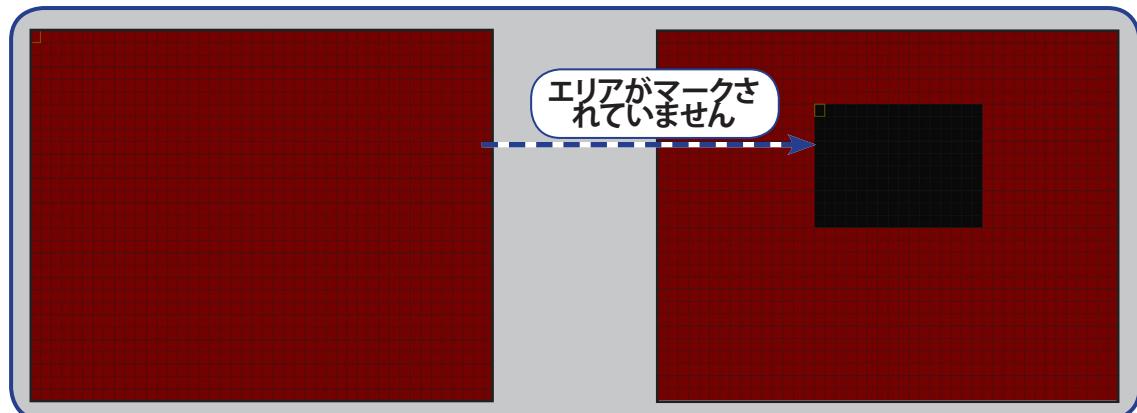
このメニューを使って、モーションパラメータを設定することができます。モーション検出は非常に簡単です。DVRはフレームごとに比較します。十分な量の差異がモーションとして解釈されます。モーションが検出されると、システムを自動的に録画を開始するよう設定することができます。このメニューで、モーションベースの録画を行うチャンネルを選択することができます。

デフォルトでは、モーション検出用に画面全体がマークされています(赤いブロック)。あるエリアでモーション検出を無効にする場合は、グリッドのカーソルをクリックしたままマウスをドラッグして(透明ブロック)のマークを解除する範囲を強調表示させます。

モーション検出を高感度レベル(「8」が最高感度)に設定した場合、障害アラームイベントの頻度が増加します。逆に、感度レベルが低すぎる場合(「1」が最低感度)、重大なモーションイベントがモーション検出をトリガーせず録画されないリスクが高まる可能性があります。



- **チャンネル:** モーション検出を設定するチャンネルを選択します。
- **有効:** 機能を有効または無効にします。
- **ブザー:** DVRは、その内部ブザーを使って、アラームを鳴らすことができます。モーションが検出された時、ブザー継続時間(秒単位)で設定することができます。
- **感度:** 感度レベルを設定します。
- **遅延記録:** イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒間ですが、最高、5分間を設定することができます。
- **メッセージの表示:** ボックスにチェックを入れて、モーションが検出された時、「M」アイコンを画面上に表示させます。
- **エリア:** モーションエリアを設定するために、**設定**をクリックします。

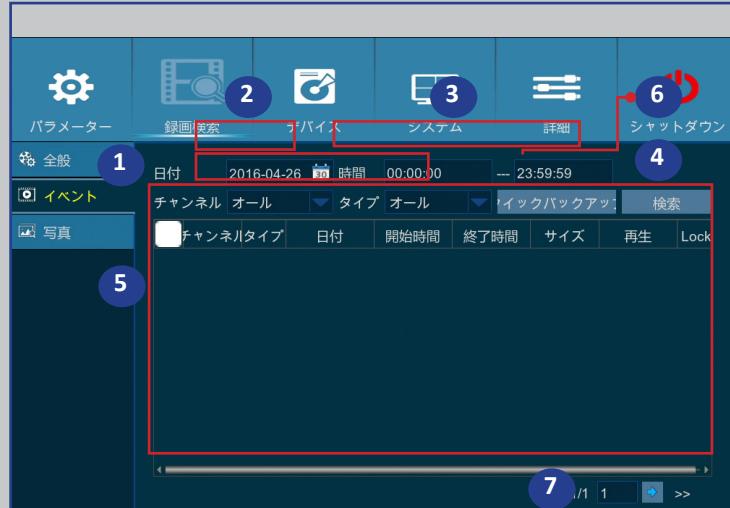


- **メールの送信:** モーションが検出されたとき、DVRに自動メールを送信させることができます。メールスケジュールを設定する場合は、"ネットワーク: メールおよびメールスケジュール" ページ 21 参照してください。
- **フルスクリーン:** この機能が有効で、チャンネルでモーションが検出された場合、そのチャンネルが全画面で表示されます。
- **アナログチャンネル/IPチャンネル:** ここで、モーション検出にどのチャンネルを含めるかを選択することができます。モーションが検出された場合、それらのチャンネル上で録画が直ちに開始されます。

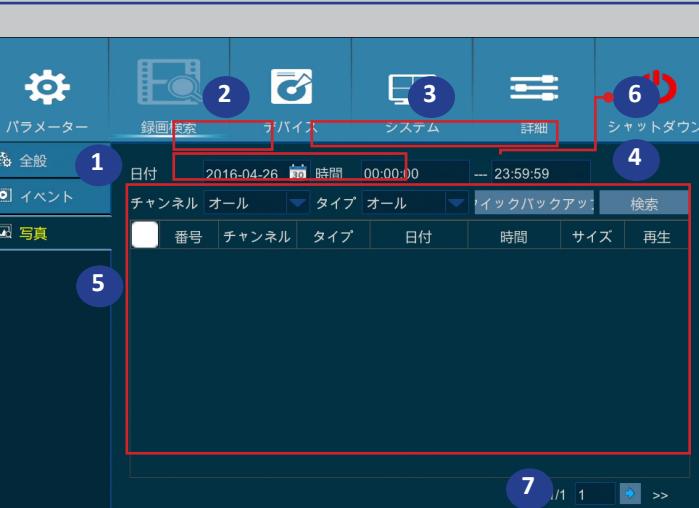
録画検索: 全般、イベントおよび写真

このメニューで、録画タイプ、チャンネル、日付および時刻パラメータに基づいて録画されたビデオの検索と再生を行います。また、イベントおよびキャプチャーした画像を表示/バックアップすることができます。

• イベント



• 写真



注意:

- イベントまたは写真をバックアップするには、USBフラッシュディスクをDVRに接続します。
- (*)写真メニューでのみ利用可能です。

- 1) チャンネルおよび項目タイプ(すべて/ノーマル/モーション/手動(*))を選択します。
- 2) 録画日付を選択します。
- 3) 録画時刻を選択します。
- 4) 検索をクリックします。
- 5) 表から録画または写真を選択します。
- 6) すべてのイベントまたは写真をバックアップするには、クイックバックアップをクリックします。
- 7) 個別のイベントまたは写真をバックアップするには、まずエントリを選択し、次にバックアップをクリックします。

• 全般



- 1) チャンネルを選択します。
- 2) 録画タイプ(すべて/ノーマル/モーション)を選択します。
- 3) 録画月および年を選択します。
- 4) 検索をクリックします。
- 5) 表から録画を選択します。

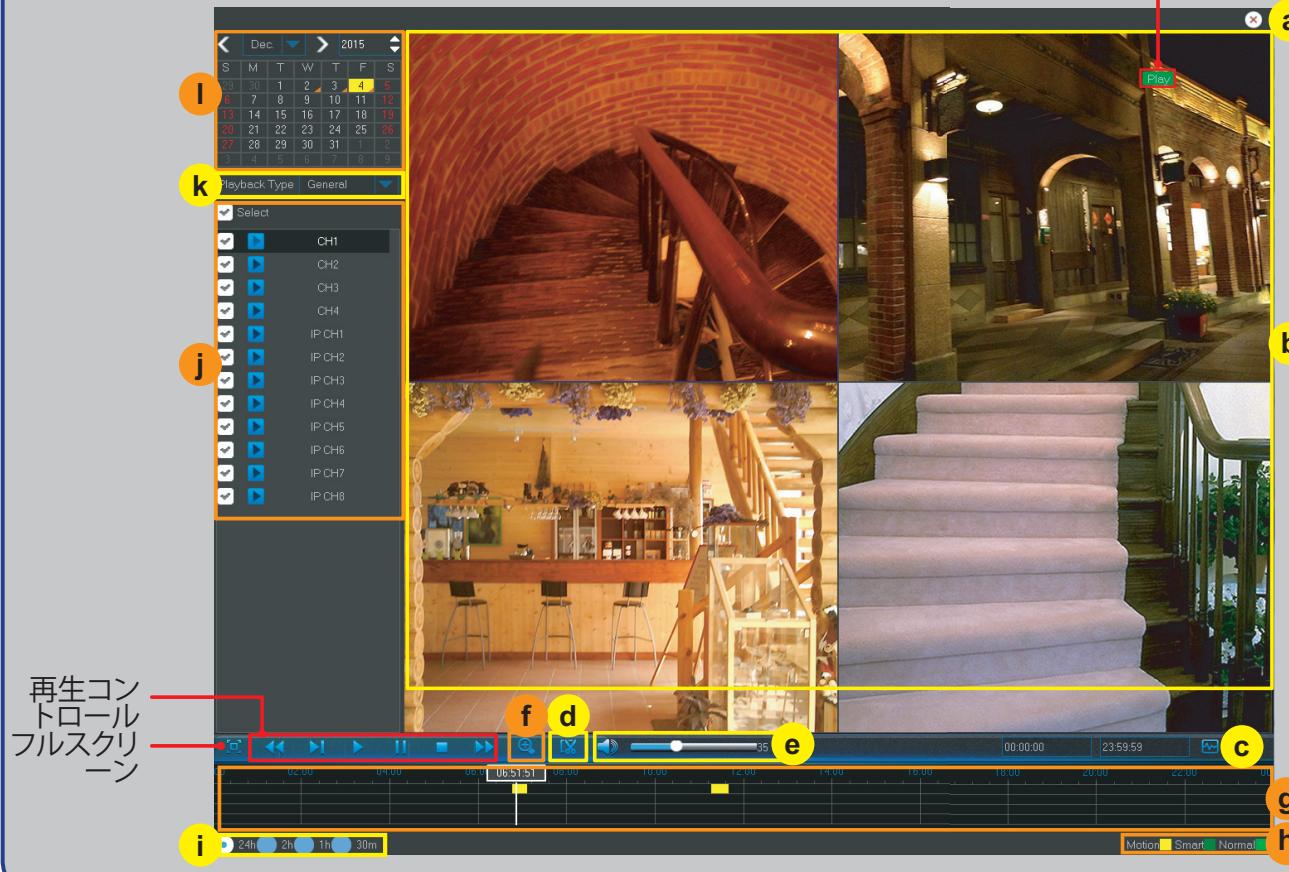
注意: オレンジ色の三角形のマークの付いた日付にはビデオ録画があります。

- 6) 再生するチャンネルを選択します(オプション)。
- 7) 必要に応じて、開始時刻と終了時刻を変更し、次に再生をクリックします。
再生画面が開きます。"録画の再生" ページ 25を参照してください。

録画検索: 全般、イベントおよび写真(続き)

録画の再生

- 再生画面



再生状態

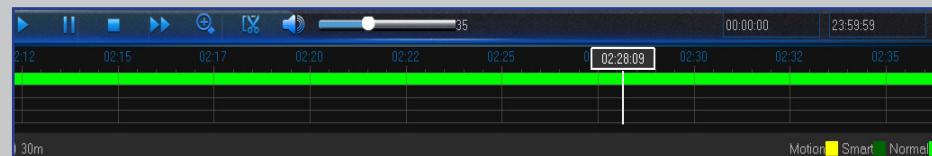
- a) 閉じる: [x] をクリックして再生画面を閉じます。
- b) 録画: 選択したチャンネルからのビデオ録画。
- c) スマート検索: 詳細は以下を参照してください
"スマート検索" ページ 26.
- d) ビデオのトリミング: 詳細は以下を参照してください
"ビデオのトリミング" ページ 27.
- e) 音量制御: スライドバーをスライドさせて、音量を増減します。音量を消音します。
- f) ズームイン: クリックしてズームインします。
- g) タイムバー: カラーは、次のビデオ録画タイプを示します:
 - スマート録画(濃い緑)
 - ノーマル録画(緑)
 - モーション録画(黄)
- h) 録画タイプインジケータ: モーション、スマートおよびノーマル。
- i) 時間フレーム: 再生タイムラインを選択します。
- j) チャンネル: 再生するチャンネルにチェックを入れます。
- k) 再生タイプ: 再生タイプを全般、イベントおよび写真から選択します。
- l) 録画カレンダー: オレンジ色の三角形のマークの付いた日付には録画があります。

録画検索: 全般、イベントおよび写真(続き)

スマート検索

この機能を使って、録画内部の特定エリアのモーションを検索します。

- 1) 全画面で再生するチャンネルを選択します。



- 2) をクリックします。

- 3) カーソルを使って、モーションを検索するエリアをマークするか、をクリックして、チャンネル全体のモーションを検索します。

- 4) をクリックします。

スマート検索の結果として、モーションベースの録画が、**濃い緑**のラインのマークを付けて、チャンネルのタイムバー上に表示されます。



モーション感知エリア



全画面がモーション感知です

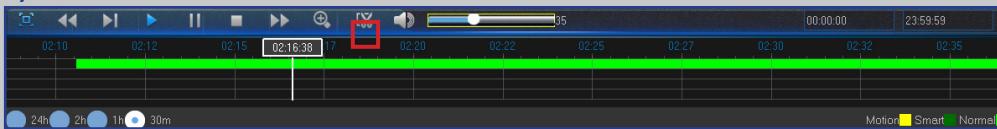


録画検索: 全般、イベントおよび写真(続き)

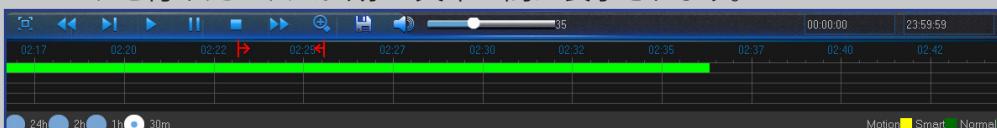
ビデオのトリミング

ビデオ録画の特定セクションのみをバックアップする必要がある場合、この機能を使用してください。

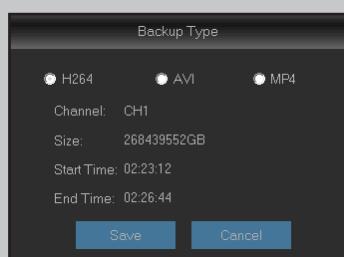
- 1) USBフラッシュドライブをDVRに接続します。
- 2) バックアップするチャンネルをダブルクリックします(ビデオ再生中に全画面で表示します)。
- 3) タイムバーをクリックして、バックアップするビデオ録画の最初にマークつけてください。
- 4) をクリックして、ビデオの選択を開始します。



- 5) タイムバーをクリックして、バックアップするビデオ録画の最後にマークつけてください。マークを付けたエリアが、赤い矢印の間に表示されます。



- 6) をクリックして、ビデオを保存します。ビデオタイプ選択メッセージが表示されます。

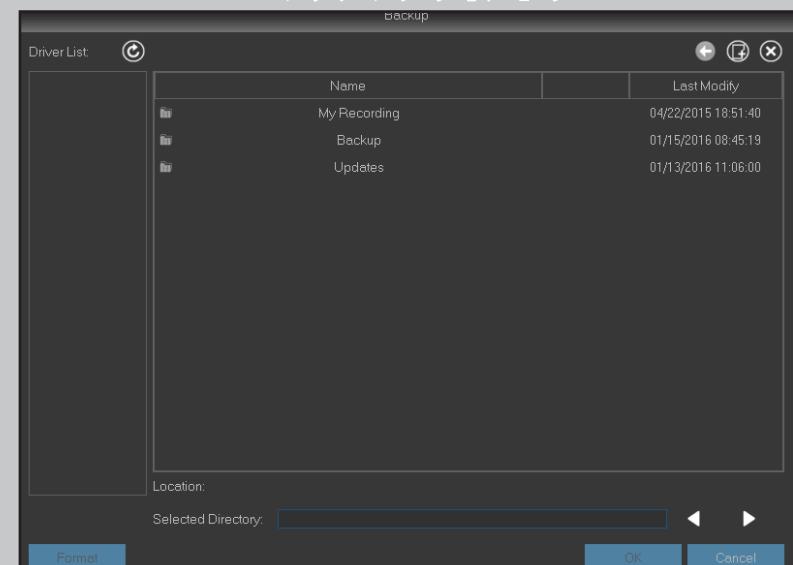


- 7) ビデオバックアップタイプを選択し、**保存**をクリックします。

注意: H.264形式で録画を表示するには、付属の製品CDからメディアプレーヤーをインストールしてください。AVIタイプはほとんどのメディアプレーヤーでサポートされています。

- 8) バックアップウィンドウで、ディレクトリを選択し、OKをクリックして、ビデオを保存します。

バックアップウィンドウ



デバイス: HDDおよびPTZ

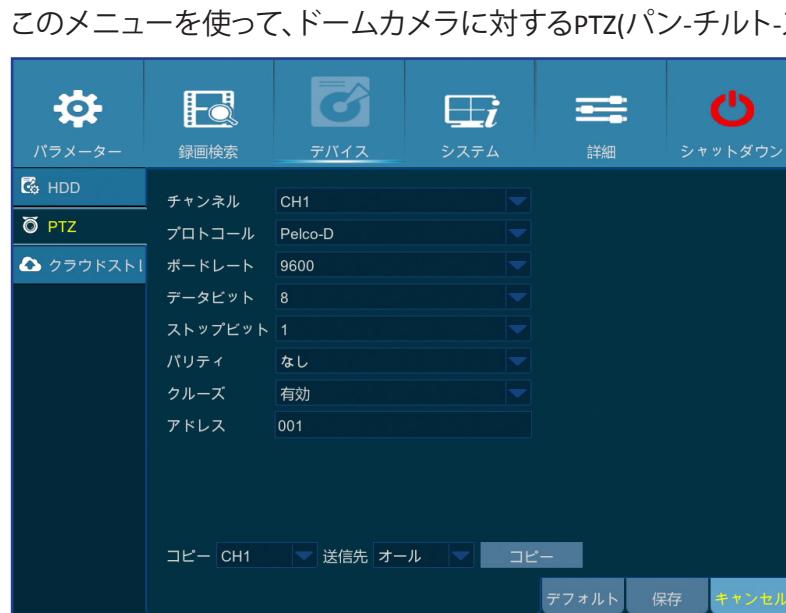
このメニューを使って、DVRが録画を保存するために使用する内部HDDを設定することができます。HDDを交換する場合、最初に起動するときのみ、HDDをフォーマットする必要があります。



- **HDDのフォーマット:** フォーマットするHDDを選択し、次に**Format HDD (HDDのフォーマット)**をクリックします。フォーマットを開始するために、ユーザー名とパスワードを入力し、次に**OK**をクリックして、フォーマットの続行を確認します。



- **上書き録画:** このオプションを使用すると、HDDが一杯になった場合、HDD上の古い録画が上書きされます。例えば、7日間のオプションを選択した場合、最新の7日間の録画のみがHDD上に保持されます。古い録画の上書きを回避するには、**無効**を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDDの状態を定期的に確認し、HDDが一杯でないことを確認する必要があります。



- **チャンネル:** ドームカメラを接続するチャンネルを選択します。
- **プロトコル:** PTZ対応カメラとDVRの間の通信プロトコルを選択します。
- **通信速度:** DVRからPTZ対応カメラに送信する情報の速度です。これが、PTZ対応カメラの互換性レベルに一致していることを確認してください。
- **データビット/ストップビット:** DVRとPTZ対応カメラの間の情報は、個々のパッケージに送信されます。データビットは、送信されるビット数を示し、エンドビットは、パッケージの終了と次の(情報)パッケージの開始を示します。データビットに対して利用可能なパラメータは次の通りです: 8、7、6、5。ストップビットに対して利用可能なパラメータは、1または2です。
- **parity:** エラーチェックのために必要です。設定を行うには、PTZ対応カメラの説明書を参照してください。
- **クレーズ:** クレーズモードの使用を可能にするために有効にします。クレーズモードで使用するため、プリセットポイントの数を設定する必要があります。
- **アドレス:** PTZシステムのコマンドアドレスを設定します。正常に機能させるために各PTZ対応カメラがユニークなアドレスを必要としていることに注意してください。

注意: クイックカメラツールバー上の をクリックして、PTZ機能の使用を開始します。

デバイス: クラウド

このメニューを使って、インターネットを通して、いつでも、どこからでもカメラサイト上で何が起きているかを確認することができます。スナップショットのアップロードを時間間隔またはモーション検出に基づいて行うことができます。



- **クラウドストレージ:** 有効化して、クラウド設定を許可します。
- **クラウドタイプ:** このDVRは、Dropboxクラウドストレージのみをサポートします。
- **チャンネル:** スナップショットをDropboxにアップロードするチャンネルを選択します。
- **送信間隔:** 画像のアップロード間隔を設定します。モーションベースのアップロードを使用する場合は、**オフ**に設定してください。
- **モーション感知:** カメラがモーションを検出したとき、スナップショットをDropboxにアップロードする場合は、有効化します。
- **ドライブ名:** ご利用のDVRのクラウドストレージ名を入力します。
- **クラウドを有効にします:** クリックして、機能を有効化します。有効化メールが受信者のメールアカウントに送信されます。
- **詳細メール設定:** クリックして、メール設定を行います。



- **クラウドストレージのアップグレード:** クリックして、現在のクラウドストレージサービスをアップグレードします。

スナップショットのアップロード開始を準備します

- 1) クラウドストレージを有効にして、チャンネル用のクラウド設定を行います。
- 2) 詳細メール設定で**詳細メール設定を行います**。
- 3) クラウドを有効にしますをクリックして、確認メールを待ちます。
- 4) 確認メールのDropboxでのクラウドの有効化リンクをクリックします。

注意: メールを確認し、リンクをたどって、3分以内にクラウドストレージのアクティベーションを完了させてください。

- 5) Dropboxアカウントの資格情報を入力します。
クラウドサービスの設定が完了しました。クラウドサービスの有効化中に問題が発生した場合は、ステップ3から5を繰り返してください。

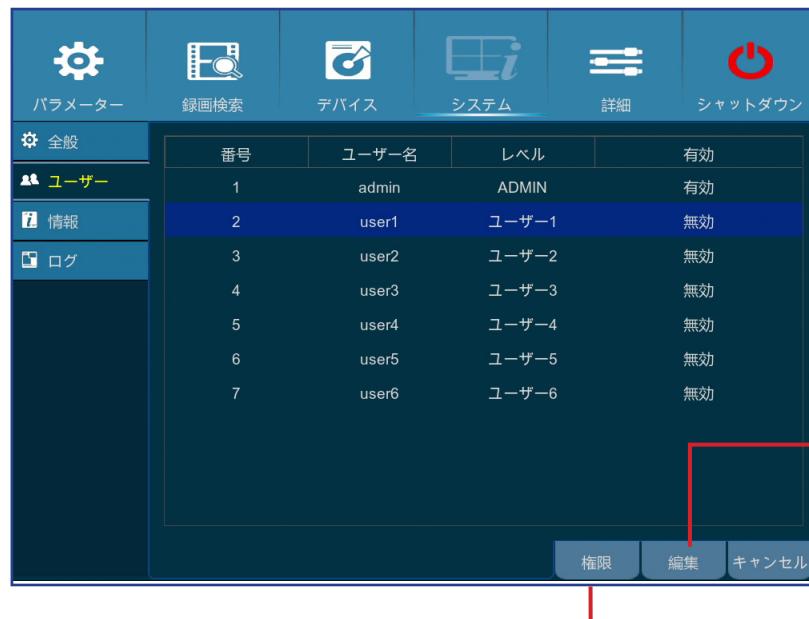
システム: 全般およびユーザー

このを使って、日付と時刻、OSD言語、メニュータイムアウトなどのシステムの全般的なパラメータを設定することができます。



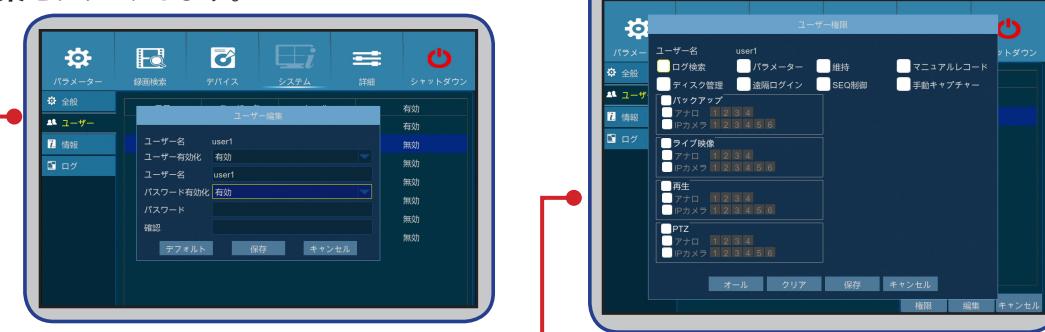
- 日付/時刻:** 手動で日付と時刻を入力します。
注意: インターネット上での日付/時刻の自動調整を行うために、NTPを有効にしてください。
- 日付表示形式:** ここで、日付フォーマットを選択します。例えば、デフォルトのYY-MM-DDを維持し、今日の日付が2016年1月11日である場合、日付は映像上に2016-01-11と表示されます。
- 時間表示形式:** ここで、時刻フォーマットを選択します。例えば、デフォルトの24時間制を維持し、現在時刻が午後5時29分54秒である場合、時刻は映像上に17:29:54と表示されます。
- 言語:** OSD言語を選択します。
- ビデオ形式:** NTSCとPALの間でビデオ形式を選択します。DVRの画像がちらつく場合、または、黒い画面が表示される場合は、ビデオ形式に誤りがある可能性があります。
- メニュータイムアウト:** 使用されていない場合、DVRがメニューを終了する時間を設定します。
- ウィザードの表示:** DVR起動時に開始ウィザードを再表示する場合にチェックマークを入れます。

このメニューを使って、ユーザーログイン情報を設定することができます。



注意: デフォルトのユーザー名は、「admin」、そして、パスワードは、「123456」です。

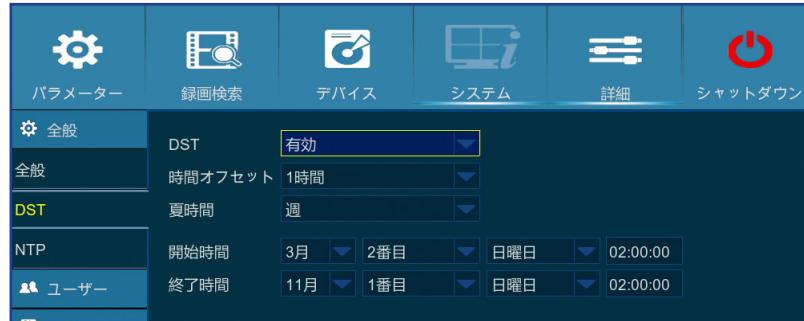
- ユーザー編集:** ユーザーアカウントを有効/無効にし、ユーザー名とパスワードを変更するためには、編集するユーザーアカウントをクリックし、次に**編集**をクリックします。



- ユーザー権限の変更:** ユーザーアクセス権限を変更するために、変更するユーザーアカウントをクリックし、次に**権限**をクリックします。

システム: DST、NTPおよびログ

DSTは夏時間の略です。



- **DST:** お住まいの国で夏時間(DST)が認められている場合は、有効にしてください。
- **時間オフセット:** DSTに対してオフセットする時間数を選択します。
- **夏時間:** 選択して、夏時間は週単位または日単位で設定します。
- **開始時間/終了時間:** 夏時間の開始時間と終了時間を設定します。

NTPとは、ネットワークタイムプロトコルの略です。この機能を使用すると、インターネット経由でDVRに自動的に日付と時刻を同期させることができます。したがって、DVRをインターネットに接続する必要があります。



- **NTP:** DVRに自動的に日付と時刻を更新させる場合は有効にしてください。
- **サーバーアドレス:** NTP(ネットワークタイムプロトコル)サーバーを選択します。
- **タイムゾーン:** お使いになる場所のタイムゾーンを選択します。
- **今すぐ更新:** ここをクリックして、システムの日付と時刻を更新します。

このメニューを使って、イベントの一覧を時系列順で表示することができます。



- ログを検索するために、対応するフィールドの開始時間/終了時間を入力し、**検索**をクリックしてください。
- ログの詳細を表示するために、項目をダブルクリックしてください。
- ログをバックアップするには、外部USBディスクをDVRに接続し、ログイベントをクリックして、**バックアップ**をクリックします。
- **ログタイプ:** ログタイプを選択します。
- **開始時間/終了時間:** USBストレージデバイス上に保存するログの開始および終了日付/時刻を指定します。**検索**をクリックします。ログが表に一覧表示されます。

システム: 情報、チャンネル情報および録画情報

このメニューを使って、システムの概要を表示し、デバイス名およびデバイスIDを変更することができます。



このメニューを使って、システムの概要を表示し、デバイス名およびデバイスIDを変更することができます。

メニュー構成:

- パラメーター
- 録画検索
- デバイス
- システム** (選択)
- 詳細
- シャットダウン

表示される情報:

デバイスID	000000
デバイスネーム	HD481
デバイスタイプ	HD481
ハードウェアバージョン	
ソフトウェアバージョン	V7.1.0-20160408
IEクライアントバージョン	V2.0.0.265
IPアドレス	192.168.1.100
MACアドレス	00-11-22-46-B4-6A
HDDポリューム	465G
ビデオ形式	NTSC

QRコード: デバイスの上部にQRコードが貼付されています。

- デバイス名:** ご希望のDVRの名前を入力します。名前には、文字と数字の両方を含めることができます。
- デバイスID:** DVRのIDを入力します。DVRを識別するデバイスIDは数字のみで構成でき、同一ネットワークに複数のDVRが接続されている場合は他のIDと同じものにすることはできません。
- MACアドレス:** DVRのMACアドレスを表示します。同一ネットワークに複数のDVRが接続されている場合、DVRがネットワークに接続できることを保証するため、各DVRは一意のMACアドレスを有する必要があります。

注意: DVRのQRコードをスキャンする必要があり、デバイスの上部のQRコードを含むステッカーが破損している場合、または手が届かない場合は、ここでデバイスのQRコードを検索することができます。

このメニューを使って、チャンネルに関する情報の要約を表示することができます。



このメニューを使って、チャンネルに関する情報の要約を表示することができます。

メニュー構成:

- パラメーター
- 録画検索
- デバイス
- システム** (選択)
- 詳細
- シャットダウン

表示される情報:

チャンネル	エイリアス	ステート	録画ストリーム	リモートストリーム
CH1	CH1	有効	1280x 720, 30Fps, 4096Kbps	352x 240, 4Fps, 640x 360, 15Fps, 4096Kbps
CH2	CH2	有効	1920x1080, 15Fps, 4096Kbps	352x 240, 4Fps, 640x 360, 15Fps, 4096Kbps
CH3	CH3	有効	1920x1080, 15Fps, 4096Kbps	352x 240, 4Fps, 640x 360, 15Fps, 4096Kbps
CH4	CH4	有効	1920x1080, 15Fps, 4096Kbps	352x 240, 4Fps, 640x 360, 15Fps, 4096Kbps

このメニューを使って、録画情報の要約をチャンネル、録画状態、ストリームタイプ、FPS、ビットレートおよび解像度ごとに表示することができます。



このメニューを使って、録画情報の要約をチャンネル、録画状態、ストリームタイプ、FPS、ビットレートおよび解像度ごとに表示することができます。

メニュー構成:

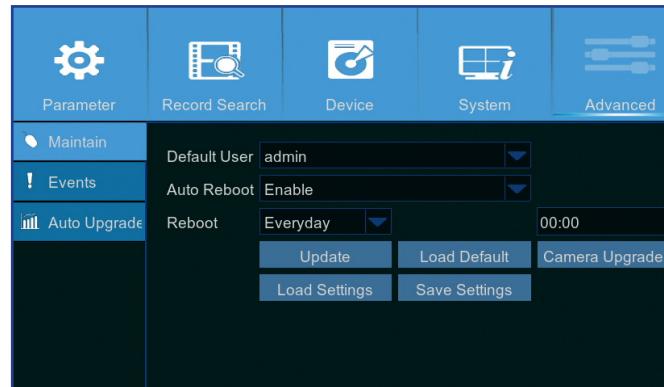
- パラメーター
- 録画検索
- デバイス
- システム** (選択)
- 詳細
- シャットダウン

表示される情報:

チャンネル	録画状態	ストリームタイプ	FPS	ビットレート	解像度

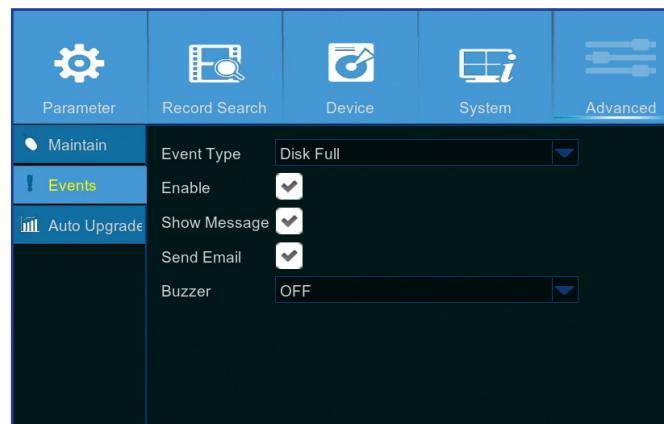
詳細: 維持、イベントおよび自動アップグレード

このメニューを使って、自動システム保守を設定したり、工場出荷時デフォルトを読み込んだり、ファームウェア設定を更新したり、IPCをアップグレードすることができます。



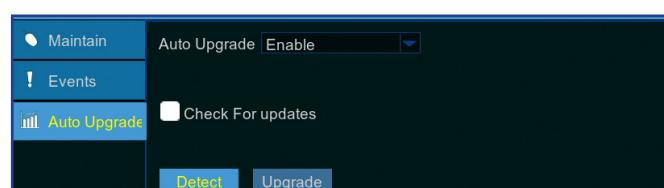
- デフォルトユーザー:** 起動後、ライブ映像表示のためにDVRに自動的にログインする場合は、管理者ユーザー アカウントのみが自動ログインを設定することができます。
- 自動リブート:** スケジュールに基づいてDVRを再起動するためには有効にします。
- 再起動:** 日、週または月に基づいて、リブートスケジュールを設定します。
- アップデート:** クリックして、アップデートファイルを読み込み、次にファームウェアをアップグレードします。
- 設定の読み込み:** **Save Settings (設定保存)** 機能を使って、以前に保存した設定をインポートするために、このオプションを選択してください。
- デフォルト読み込み:** この機能を用いて、DVRの工場出荷時設定を復元します。ファームウェアのアップグレード後、すべてのオプションに対してデフォルトを読み込むことをお勧めします。
- 設定保存:** ビデオ録画設定、ネットワーク設定などのDVRの現在の設定をUSBデバイスに保存するために、このオプションを選択してください。
- カメラのアップグレード:** クリックして、アップデートファイルを選択し、次にIPカメラをアップグレードします。
注意: 一部のIPカメラはこの機能をサポートしない場合があります。

このメニューを使って、DVRがあなたに通知するイベントのタイプを設定することができます。



- イベントタイプ:** イベントタイプを選択します。オプションは次の通りです:
 - **ディスクフル:** HDDがいっぱいの場合です。
 - **ディスクエラー:** HDDが正しく検出されない場合です。
 - **ビデオロス:** カメラが正しく検出されない場合です。
- 有効:** ボックスにチェックを入れて、イベントの監視を有効にします。
- メッセージの表示:** ディスクフル、ディスクエラー、またはビデオロスが発生した時に画面上にメッセージを表示する場合にチェックを入れてください。
- メールの送信:** イベント発生時にDVRに自動メールを送信させます。メールおよびスケジュールを設定する場合は、"ネットワーク: メールおよびメールスケジュール" ページ 21を参照してください。
- ブザー:** イベント発生時のブザーの時間を設定します (オフ / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒)。ブザーを無効にするには、**オフ**を選択します。

このメニューを使って、DVRを自動的にアップグレードすることができます。



- 自動アップグレード:** 自動アップグレードを許可するために有効にします。
- アップデートの確認:** システムにアップデートの自動確認を許可するためにボックスにチェックを入れます。
- 検出:** クリックして、ソフトウェアバージョンを検出します。
- アップグレード:** をクリックして、アップグレードを開始します。

Webクライアントを経由するリモートアクセス

Webクライアントを使って、PCを経由してDVRにいつでもリモートアクセスすることができます。Webクライアントにアクセスする前に、DVRのネットワーク設定が正常に行われていることを確認する必要があります。最も便利で簡単な方法は、DVRを固定IPアドレスに設定している場合です（「ネットワーク: ネットワーク」ページ 19を参照してください）。PC上でWebブラウザを開き、DVRに設定した固定IPアドレスを入力することだけが必要になります。しかし、DVRのIPアドレスがDHCPサーバーにより割り当てられる場合（「ネットワーク: ネットワーク」ページ 19を参照してください）、DVRを再起動するたびにIPアドレスが変化します。この場合、ISPに固定IPアドレスを提供してくれるかどうか確認してください。提供してもらえない場合は、DDNSサービスを設定してください。「ネットワーク: ネットワーク」ページ 19 および「ネットワーク: DDNSおよびFTP」ページ 22のネットワーク設定をご覧ください。また、UPnPがDVRとルーターに設定されていること、または、ルーター内に手動ポート転送が完了していることを確認してください。

注意: Mac OSのSafariの場合は、以下を確認します:

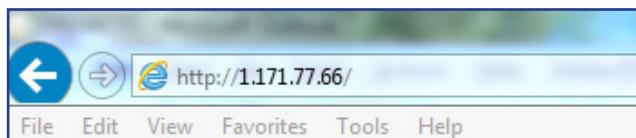
- 最新バージョンにWebプラグインをインストールまたはアップデートしていることを確認します。ダウンロードリンクをクリックして、SurveillanceClientインストーラソフトウェアをダウンロードし、ブラウザを閉じて、画面上の指示に従い、ご利用のMacにソフトウェアをインストールします。
- ご利用のブラウザでWebプラグインが有効になっていることを確認します（Safari > 環境設定 > セキュリティに進み、プラグインを許可チェックボックスにチェックを入れます）。
- 最初にログインする際、信頼するをクリックして、ブラウザに「SurveillanceClienth.plugin」プラグインの使用を許可します。

ログイン

Webクライアントにアクセスするには以下のことを行います。

- PC上でWebブラウザ（Internet Explorer）を起動し、URLボックスにDVRに設定したDVRの固定IPアドレスまたはDDNSドメイン名（ホスト名）を入力します。

注意: 次のIPアドレスは一例に過ぎません。



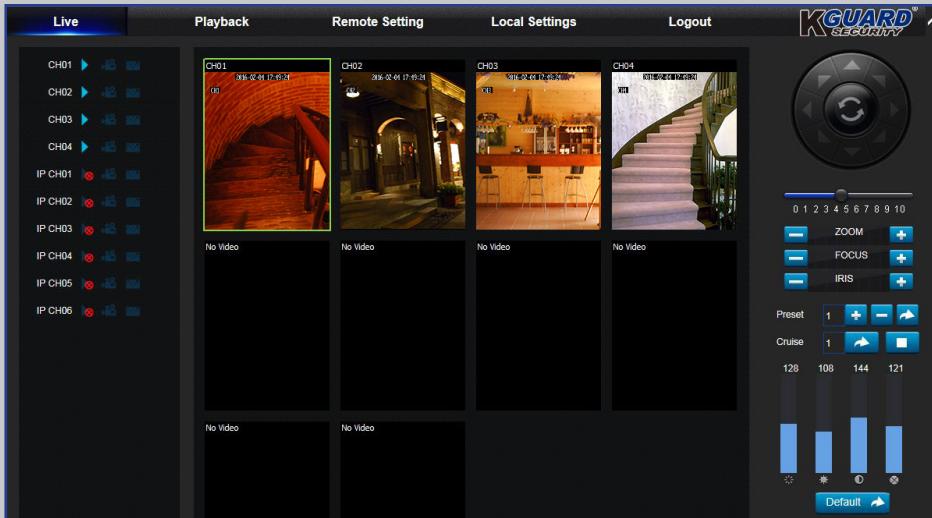
示すように、ユーザーログインページが開きます。

Username	admin
Password	（未入力）
Client Port	9000
Bitrate	Sub stream
Language	English
<input type="checkbox"/> Remember Pwd <input checked="" type="checkbox"/> Open All Channels Preview	
<input type="button" value="Login"/> <input type="button" value="Reset"/>	

- 2) ユーザー名とパスワードを入力します。次にログインをクリックします。

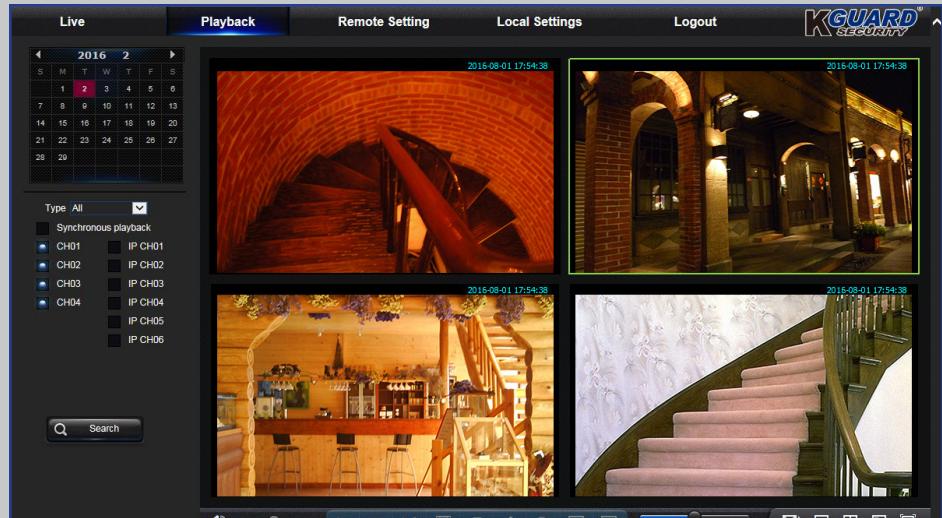
Webクライアントを経由するリモートアクセス(続き)

リモートライブ映像表示画面



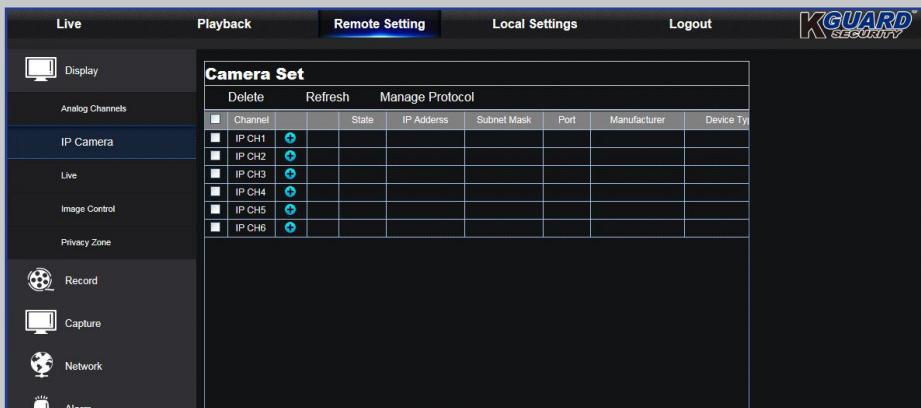
これは、Webクライアントにログイン後に最初に開く画面です。ここで、チャネルの表示または無効(▶)、手動での録画開始(■)、画面のスナップショットの取得(■)、PTZ設定(サポート無)などを行うことができます。

リモート再生画面



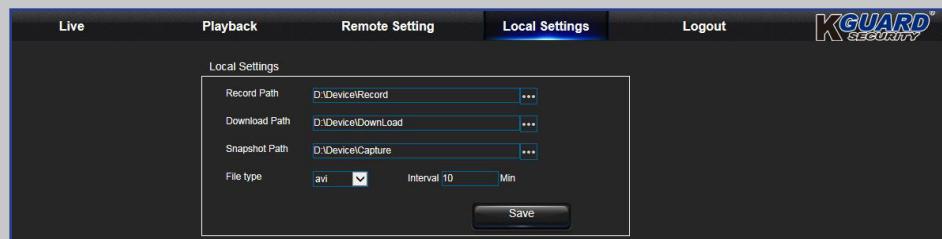
DVR内部のHDD上に保存された録画ファイルを検索したり、結果をPCのローカルディレクトリに保存したりすることができます。ローカルディレクトリを設定する場合。以下に記載する「ローカル設定メニュー」を参照してください。

リモート設定メニュー



ここで、DVRの設定をリモートで行うことができます。詳細情報は、"メインメニュー" ページ 10を参照してください。

ローカル設定メニュー



- 録画パス:**PCのローカルドライブ上に手動録画を保存するためのパスを設定します。
- ダウンロードパス:**DVRからの録画をダウンロードするPCのローカルドライブ上のパスを設定します。
- スナップショットパス:**PCのローカルドライブ上に手動スナップショットを保存するためのパスを設定します。
- 保存:**保存をクリックして変更を保存します。
- ファイルタイプ:**手動録画用のお気に入りのファイルタイプを選択します。

トラブルシューティング

DVRを使用する際になんらかの問題を体験した場合は、サービスに問い合わせる前に以下の共通問題に対する解決法を試みてください。問題が持続する場合は、お近くのカスタマーサービスにお問い合わせください。

質問:管理者パスワードを変更しましたが思い出せません。 **回答:**

- 工場出荷時の既定パスワードを取得するには、小売業者へ問い合わせるか、または直接 KGUARDsupport@kguardsecurity.comにメールを送信してください。

質問:DVRの電源がONにならず、インジケーターが点灯していません。

回答:

- 電源アダプター(12V/2A)が正しく接続されているかどうかご確認ください。
- 電源アダプタを別のコンセントに接続します。現在のコンセントが損傷している恐れがあります。

質問:リモコンが動作しません。

回答:

- リモコンとDVRの間を遮るものがないことをご確認ください。適切な距離をあけてリモコンを向けてください。
- リモコンの電池をご確認ください。

質問:モーション検出機能が動作しません。

回答:

- モーション検出が有効になっているおり、チャンネルに対するモーションエリアがマークされていることを確認します。
- ご利用のIPカメラがモーション検出をサポートしていない、または、DVRを経由して構成できない可能性があります。

質問:時刻表示が正しくありません。

回答:

- 日付/時刻設定が正しくありません。
- デフォルトで、DVRがインターネットに接続された後、時刻と日付が自動的に更新されます。お使いになる場所に応じて、NTPメニュー上でタイムゾーンが正しく設定されていることを確認します。

質問:ブザーが鳴り続けています。

回答:

- モーションまたはイベント設定を確認してください。モーション感知またはビデオロスが検出される可能性があります。HDD容量とビデオ接続をご確認ください。これらがブザーのトリガーとなっている可能性があります。

質問:Webクライアントにアクセスできません。

回答:

- ネットワークケーブルがDVRに正しく接続されているかをご確認ください。
- UPnP機能がルーターおよびDVRで有効化されていること、または、ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ポート転送が完了していることを確認してください。
- ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。["ネットワーク: ネットワーク" ページ 19をご参照ください。](#)
- Internet Explorer 6以上であることをご確認ください。
- Mac OS上のSafariの場合は、ご利用のブラウザでFlash Playerが有効になっており、Adobe Flash Playerプラグインが最新バージョンにアップデートされていることを確認します。

質問:メールアラートが多すぎます。

回答:

- メールアラートの送信間隔設定を確認してください。["ネットワーク: メールおよびメールスケジュール" ページ 21をご参照ください。](#)
- DVRがビデオロスまたはHDDエラーなどのエラーを報告し続ける場合は、カメラが正しく接続されていること、また、他のハードウェア設定を確認してください。

質問: DVRの画像がちらつく、または、ブラック画面のみです。

回答:

- ビデオ形式(NTSC/PAL)の設定が正しくありません。

質問: 画面上に「Decoding Failed(デコーディング失敗)」を表示されます。

回答:

- 入力FPSまたはIPカメラの帯域幅が制限を超えているかどうかを確認します。IPカメラの録画ストリームにFPSまたはビットレート値を調整します。
- IPカメラのビデオ圧縮形式がH.264であることを確認します。



Copyright © 2016 All rights reserved

カスタマサポート

KGUARD INFORMATION CO., LTD.

アドレス: 4F, No.113, Jian 2nd Road, Jhonghe
District, New Taipei City 23585, Taiwan
電話: +886-2-8228-6080
FAX: +886-2-8221-6857
Eメール: support@kguardsecurity.com

USA Technical Support Contact

電話: 1-866-978-4888
Eメール: usservice@kguardsecurity.com